

プラスチック  
素材使用

# スキーブーツの 「経年劣化」にご注意!!

スキーの前は安全のため、簡単にできる  
「経年劣化」チェックをお忘れなく!

下記のチェック項目の中で、ひとつでも異常があった場合には使用しないでください。  
(使用されているプラスチック素材により、異なる場合があります。)



「経年劣化」チェック①  
スキーブーツ本体・部品の  
表皮にヒビが生じて  
いないかをチェック



「経年劣化」チェック②  
本体・部品の表皮に白濁、  
光沢に著しい衰退が  
ないかをチェック



「経年劣化」チェック③  
ご使用前に自宅で履いて  
スキー動作を数回繰り返し  
異常がないかをチェック

製造から5年程度で、強度が低下する場合があります。

スキーブーツには、機能性を考慮しプラスチックが本体や部品  
に多く使用されていますが、その強度は、年月とともに徐々に  
低下(経年劣化)し、破損に至ることがあります。

このめやすは、使用されている素材により異なりますが、製造  
から5年程度。ご使用には、充分ご注意ください。

私たちは、「安全で楽しいスキーライフ」のために、日頃からの  
ご注意と正しいメンテナンスをお願いしています。



## ご使用上の注意

- ご使用の前には、ブーツ本体・バックル等に異常がないか点検してください。
- 高温の場所に置くと変形したり、素材の劣化を早める場合があります。  
乾かす際には、ストーブやスチーム等の高温場所に近付けないでください。

## メンテナンスの方法

- 汚れは水に浸した布や柔らかいスポンジで拭き取ってください。
- 汚れ落としに、ベンジンやシンナー等の溶剤を使用しないでください。
- シェルとインナーブーツはそれぞれ直射日光を避けて、風通しのよい場所で十分に乾燥させてください。
- 日の当たらない場所に保管してください。この場合、ビニール袋などでブーツを密封しないでください。



スキー、ビンディング、スキーブーツの  
取り扱いに関するお願い。

- ご使用の前後にそれぞれのシステムをよく点検し、異常を見つけた場合は使用を中止し、販売店などにご相談ください。
- 取扱説明書をよくご覧の上、ご使用上の注意やメンテナンスの方法をお守りください。
- ご不明な点は、販売店やメーカーにお尋ねください。



私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。  
**日本スキー産業振興協会(JSP)**  
(社)日本スポーツ用品工業協会

